

# 平成 30 年度 日本生化学会関東支部例会

**会期**：平成 30 年 6 月 23 日（土）

**会場**：埼玉大学 理工学研究科 総合研究棟

（〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255）

**世話人**：

代表 高橋 康弘（埼玉大学大学院理工学研究科 生命科学部門）

戸澤 譲（埼玉大学大学院理工学研究科 戦略的研究部門／生命科学部門）

大塚 裕一（埼玉大学大学院理工学研究科 生命科学部門）

松岡 聡（埼玉大学大学院理工学研究科 生命科学部門）

藤城 貴史（埼玉大学大学院理工学研究科 生命科学部門）

**生化学会関東支部長**：

仁科 博史（東京医科歯科大学 難治疾患研究所）

**主催**：日本生化学会関東支部

**共催**：日本生化学会

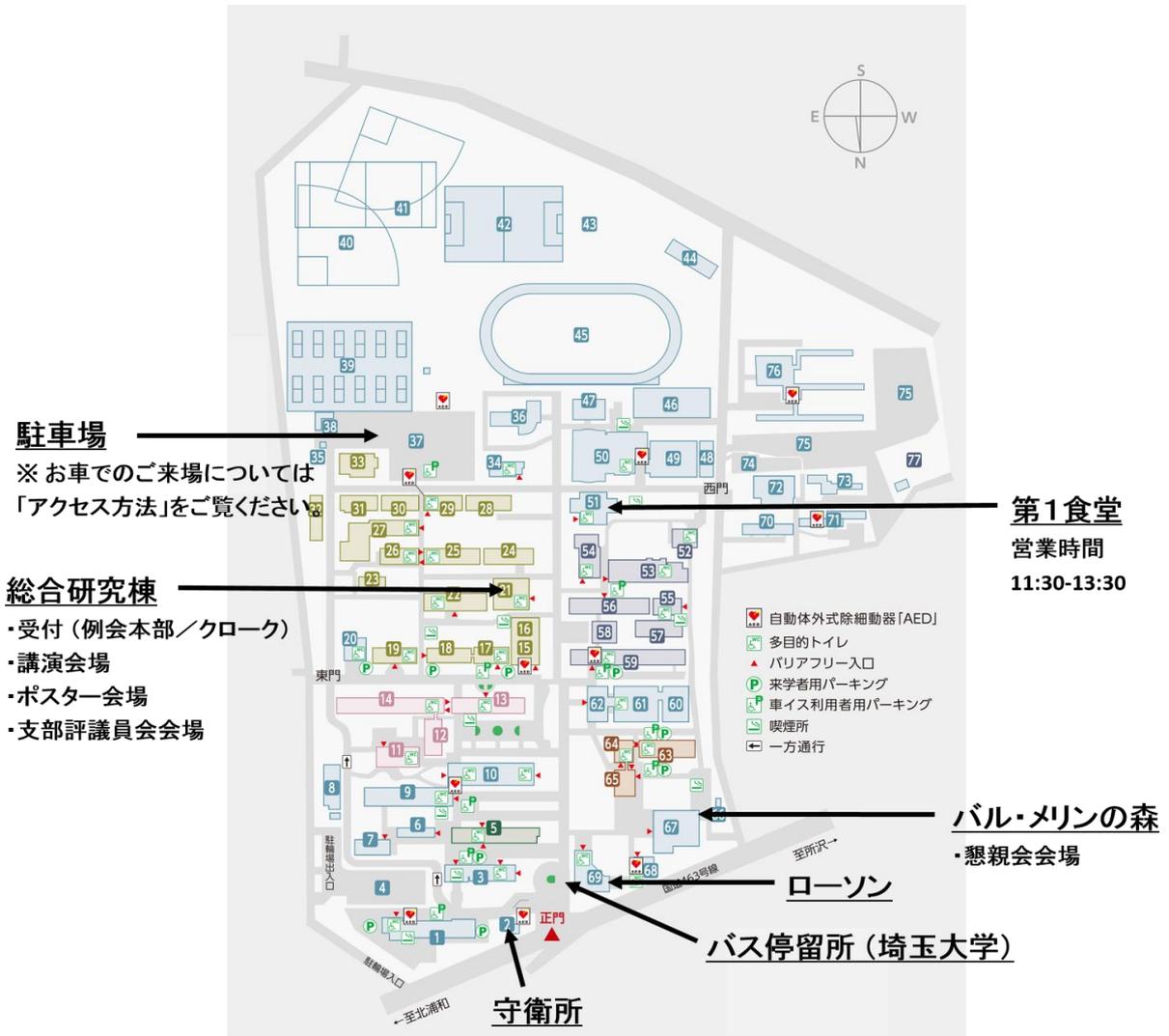
埼玉大学



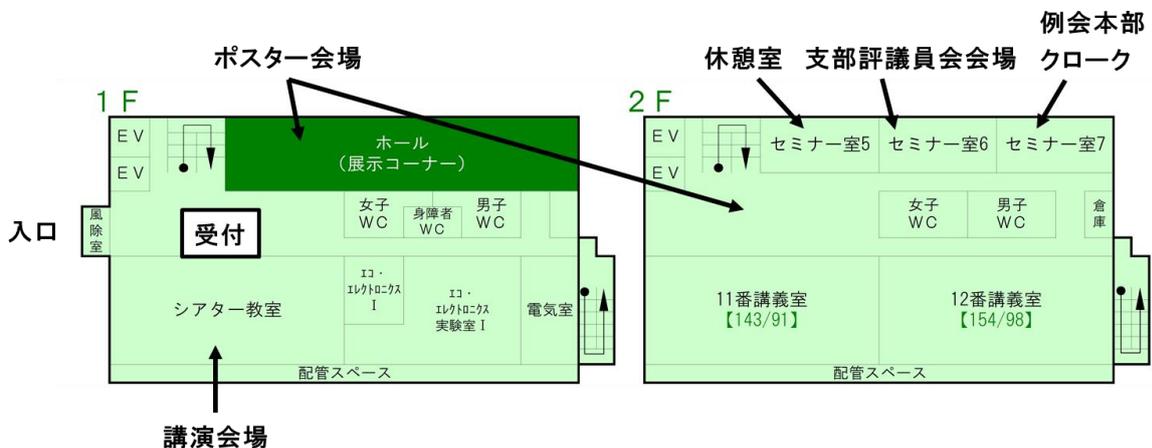
**URL**：<http://www.biochem-kanto.jp/reikai2018/index.html>

# 会場のご案内

## ■ 埼玉大学キャンパスマップ



## ■ 会場 (総合研究棟) 見取図



## アクセス方法

埼玉大学所在地：〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255

### ■ 公共交通機関でお越しの方

JR 京浜東北線「北浦和駅」西口下車→バス「埼玉大学」ゆき（終点）

JR 埼京線「南与野駅」下車→北入口バス停から「埼玉大学」ゆき（終点）

JR 埼京線「南与野駅」下車→西口バス停から全ての便が埼玉大学を經由します

東武東上線「志木駅」東口下車→バス「南与野駅西口」ゆき（「埼玉大学」下車）

時刻表などの詳細は下記のリンクをご参照ください。

URL : <http://www.saitama-u.ac.jp/koho/guide/map/accessmap.html>



### ■ お車でお越しの方

台数に限りがありますが、車で会場にお越しになることが可能です。

手順は以下の通りです。

1. 正門前の駐車スペース（2台分）に入り、一時的に駐車します。
2. 大学正門横の守衛所にて、例会参加の旨を記帳し、入構カードを受け取ります。
3. 正門を入れて左手のゲートから入構します。カードを機械に入れることでゲートが開きます。
4. 駐車場まで進み、駐車します。
5. お帰りの際は、正門正面のゲートより出ることができます。

## 参加者へのご案内

### ■ 当日の手続きについて（受付：埼玉大学理工学研究科 総合研究棟 1階）

#### 1. 参加証（名札）

受付にて参加証をお受け取りください。本会中は場所時間にかかわらず常にご着用ください。

#### 2. 懇親会

懇親会に参加される方は、受付にて懇親会費（一般：3000円、学生：500円）をお支払いください。

会場：バル・メリンの森（埼玉大学内レストラン） 18:00～20:00

### ■ 会場内外の施設

#### 1. クローク

例会本部（総合研究棟 2階）にてお荷物をお預かりします。貴重品、PC等は各自でお持ちください。

お預かり時間：9:00～18:00

#### 2. 飲食場所

埼玉大学理工学研究科 総合研究棟内の所定の休憩室（2階）をご利用ください。

#### 3. 喫煙される方へのお願い

大学構内は、喫煙所を除き、全面禁煙です。

#### 4. 飲食施設

例会当日は、大学構内では、「ローソン」、「第一食堂部」、「第一食品部（購買部）」、大学近郊では「BePLANT（レストラン）」、「シルクロードハウス（インドカレー料理店）」、「丸亀製麺」、「サイゼリア」、「セブンイレブン」、などがご利用いただけます。

# 発表者へのご案内

## ■ 一般口頭発表

### 1. 講演会場

埼玉大学理工学研究科 総合研究棟 シアター教室

### 2. 発表データの受付

パソコンによる発表となります。演台上には、ノートパソコン、マイク、ポインターをご用意いたします。発表時の操作は、ご自身でお願いいたします。ご発表の Session 開始 30 分前までに、USB に保存したデータを PC 受付の担当者にお渡しください。会場に設置するパソコンの仕様は以下の通りです。

OS : Windows 10

アプリケーション : Microsoft Office PowerPoint 2016

音声出力 : 不可

### 3. 発表時間

発表 12 分、質疑応答 3 分です。時間厳守でお願いいたします。

## ■ ポスター発表

### 1. ポスター発表会場

埼玉大学理工学研究科 総合研究棟 1 階ホール、2 階ホール

### 2. ポスター掲示

演題番号の付いた所定のスペースに掲示してください。ポスターボードのサイズは、「横 90cm 縦 210cm」です。

貼付 : 9:00~ (12:10 までに貼付をお願いいたします。)

撤去 : ポスタービューイング終了後~16:20

### 3. 発表時間

発表・討論の時間は、必ずご自身のポスター前に立ち、質問・討論に応じて下さい。それ以外の時間 (12:10~13:30) は自由討論とします。

ポスター発表 : 13:30~14:30 (奇数番号 13:30~14:00、偶数番号 14:00~14:30)

### 4. 優れた発表を行った学生・若手研究者に対して「優秀発表賞」を贈呈いたします。

# 日程表

	総合研究棟 1階		総合研究棟 2階			バル・メリンの森
	シアター教室	ホール	ホール	セミナー室 5	セミナー室 6	
9:00	受付開始 9:00~					
10:00	Session 1 10:05~11:05	ポスター 貼付け (P01~P40)	ポスター 貼付け (P41~P68)	休憩室 9:00   18:00	本部 クローク 9:00   18:00	
11:00	Session 2 11:15~12:00	9:00~12:10	9:00~12:10			
12:00		自由討論 12:10~13:30	自由討論 12:10~13:30		支部 評議員会	
13:00		Session 3 13:30~14:30	Session 3 13:30~14:30			
14:00		ポスター 撤去 14:30~16:20	ポスター 撤去 14:30~16:20			
15:00	Session 4 14:40~16:05					
16:00	Session 5 16:20~17:35					
17:00	閉会式					
18:00						
19:00						懇親会 18:00~20:00
20:00						

## プログラム

09:00～	受付開始
10:00～10:05	<b>開会の挨拶</b> 高橋 康弘（平成 30 年度関東支部例会 代表世話人、埼玉大学大学院 理工学研究科 生命科学部門 分子生物学領域）
<b>Session 1 一般講演（口頭発表）（10:05～11:05）</b> 座長：藤城 貴史（埼玉大学大学院 理工学研究科）	
10:05～10:20 OL-1	<b>「Pink Flamingo: a red fluorescent indicator for intracellular cAMP observations」</b> 【ポスター発表演題番号：P-18】 ○Kazuki Harada <sup>1</sup> （博士課程 3 年），Motoki Ito <sup>2</sup> , Takashi Tsuboi <sup>1, 2</sup> and Tetsuya Kitaguchi <sup>3, 4</sup> <sup>1</sup> Dept. Life Sci., Grad. Sch. Art. Sci., Univ. Tokyo, <sup>2</sup> Univ. Tokyo, <sup>3</sup> WABIOS, <sup>4</sup> Waseda Univ.
10:20～10:35 OL-2	<b>「隣リパーゼを修飾する糖鎖は分子の熱安定性に寄与する」</b> 【ポスター発表演題番号：P-53】 ○川口 奈奈美 <sup>1</sup> （博士課程 3 年），富田 千尋 <sup>1</sup> , 檜館 里奈 <sup>1</sup> , 小川 温子 <sup>2</sup> <sup>1</sup> お茶大・院・人間文化・理学, <sup>2</sup> お茶大・基幹研究院・自然科学系
10:35～10:50 OL-3	<b>「ゼブラフィッシュ由来の LINE の RNA の構造と逆転写酵素による認識方法」</b> 【ポスター発表演題番号：P-62】 ○大津 舞菜（博士課程 3 年），河合 剛太 千葉工業大学大学院 工学専攻
10:50～11:05 OL-4	<b>「NMR 分光法によるコアフコース認識レクチン PhoSL の三量体溶液構造とフコース認識機構」</b> 【ポスター発表演題番号：P-33】 ○山崎 和彦 <sup>1</sup> 、山崎 智子 <sup>1</sup> 、館野 浩章 <sup>2</sup> 産業技術総合研究所 <sup>1</sup> バイオメディカル研究部門、 <sup>2</sup> 創薬基盤研究部門
11:05～11:15	休憩

**Session 2 一般講演（口頭発表）（11:15～12:00）**

座長：松岡 聡（埼玉大学大学院 理工学研究科）

11:15～11:30 OL-5	「哺乳動物培養細胞を用いた転写共役因子 YAP 誘導性細胞排除現象の解析」 【ポスター発表演題番号：P-17】 ○石原 えりか、仁科 博史 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 発生再生生物学分野
11:30～11:45 OL-6	「アストロサイト由来 Aβ 分解酵素 Kallikrein-related peptidase 7 の発現制御機構の解析」 【ポスター発表演題番号：P-25】 ○須藤 優喜 <sup>1</sup> （修士課程2年）、木棚 究 <sup>1</sup> 、建部 卓也 <sup>2</sup> 、堀 由起子 <sup>1</sup> 、高鳥 翔 <sup>1</sup> 、富田 泰輔 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 東京大院 薬学系 機能病態学教室、 <sup>2</sup> 帝京平成大 薬 薬学科
11:45～12:00 OL-7	「PRMT1 スプライスバリエント欠損がマウス個体の代謝に与える影響」 【ポスター発表演題番号：P-57】 ○水上 早瀬 <sup>1</sup> （博士課程3年）、金 俊達 <sup>2</sup> 、陸 偉哲 <sup>3</sup> 、横山 航 <sup>1</sup> 、中島 実咲 <sup>1</sup> 、石田 純治 <sup>2</sup> 、深水 昭吉 <sup>2</sup> 筑波大 <sup>1</sup> 生命環境科学研究科、 <sup>2</sup> 生存ダイナミクス研究センター、 <sup>3</sup> グローバル教育院
12:00～12:05	次年度支部例会代表世話人挨拶 久堀 徹（東京工業大学 科学技術創成研究院化学生命科学研究所）
12:10～13:10	昼食
12:10～13:10	支部評議員会 2階 セミナー室6
<b>Session 3 ポスタービューイング（12:10～14:30）</b> ポスター会場：1階ホール、2階ホール	
12:10～13:30	自由討論
13:30～14:00	奇数番号 ポスター発表・討論
14:00～14:30	偶数番号 ポスター発表・討論

14:30～14:40	休憩
<b>Session 4 特別講演 (14:40～16:05)</b> 座長：戸澤 謙 (埼玉大学大学院 理工学研究科)	
14:40～15:20 PL-1	『NGLY1 の生物学：基礎科学の醍醐味』 鈴木 匡 (理化学研究所 鈴木糖鎖代謝生化学研究室 主任研究員)
15:20～16:05 PL-2	『薬剤標的としてのミトコンドリア ―寄生虫からがん細胞まで―』 北 潔 (東京大学名誉教授、長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科長)
16:05～16:20	休憩
<b>Session 5 ミニシンポジウム「平成 29 年度日本生化学会奨励賞受賞者による講演会」 (16:20～17:35)</b> 座長：大塚 裕一 (埼玉大学大学院 理工学研究科)	
16:20～16:45 IL-1	「巨大分子の分泌機構」 齋藤 康太 (秋田大学大学院医学系研究科 情報制御学 実験治療学講座)
16:45～17:10 IL-2	「結合タンパク質及び病原菌感染により明らかとなった syntaxin 17 の新たな機能」 新崎 恒平 (東京薬科大学 生命科学部 分子細胞生物学研究室)
17:10～17:35 IL-3	「細胞質におけるミトコンドリア膜タンパク質の品質管理システム」 板倉 英祐 (千葉大学大学院 理学研究院 生物学部門 細胞機能制御研究室)
<b>閉会式 (17:35～17:50)</b>	
17:35～17:45	優秀発表賞 表彰
17:45～17:50	閉会の言葉 仁科 博史 (関東支部長、東京医科歯科大学 難治疾患研究所)
18:00～20:00	懇親会 (会場：バル・メリンの森)

## ポスター発表

9:00～12:10	貼付
12:10～13:30	自由討論
13:30～14:00	奇数番号 ポスター発表・討論
14:00～14:30	偶数番号 ポスター発表・討論
14:30～16:20	撤去

ポスター発表会場：総合研究棟 1階ホール P-01～P-40  
 総合研究棟 2階ホール P-41～P-69

\*印：優秀発表賞の選考対象者

P-01	*	G-CSF 受容体を介した JAK2V617F 変異体による細胞増殖誘導機構の解析 ○城所 孝幸 <sup>1</sup> 、上田 史仁 <sup>1</sup> 、多胡 憲治 <sup>2</sup> 、多胡 めぐみ <sup>1</sup> 、田村 悦臣 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 慶應義塾大学薬学部、 <sup>2</sup> 自治医科大学
P-02	*	5-Hydroxyoxindole 誘導体による抗炎症作用機序の解析 ○藤原 聖 <sup>1</sup> 、新野 智美 <sup>1</sup> 、安田 大輔 <sup>1</sup> 、高橋 恭子 <sup>1</sup> 、増野 匡彦 <sup>1</sup> 、多胡 憲治 <sup>2</sup> 、多胡 めぐみ <sup>1</sup> 、田村 悦臣 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 慶應義塾大学薬学部、 <sup>2</sup> 自治医科大学
P-03	*	TNF $\alpha$ による NF- $\kappa$ B活性化に対する PTP1c の増強効果とその分子機構 ○上田 雄亮 <sup>1</sup> 、多胡 めぐみ <sup>2</sup> 、太田 聡 <sup>1</sup> 、松儀 実広 <sup>1</sup> 、柳澤 健 <sup>1</sup> 、多胡憲治 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 自治医科大学医学部、 <sup>2</sup> 慶應義塾大学薬学部
P-04	*	細胞増殖シグナルにおける Ras アイソフォームの使い分け ○大多和宏季 <sup>1</sup> 、齊藤博司 <sup>1</sup> 、太田聡 <sup>1</sup> 、多胡めぐみ <sup>2</sup> 、松儀実広 <sup>1</sup> 、柳澤健 <sup>1</sup> 、多胡憲治 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 自治医科大学医学部、 <sup>2</sup> 慶應義塾大学薬学部
P-05		IL-33/ST2L シグナルにおける転写因子 I $\kappa$ B $\zeta$ の役割 ○尾崎裕美 <sup>1</sup> 、早川盛禎 <sup>1</sup> 、鴨下信彦 <sup>1</sup> 、丸山貴司 <sup>2</sup> 、富永眞一 <sup>1</sup> 、大森 司 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 自治医科大学医学部生化学講座病態生化学部門 <sup>2</sup> 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻病態制御医学系生体防御学講座
P-06	*	TGF- $\beta$ シグナル抑制分子欠損によって誘導される小腸腫瘍抑制機構の解明 ○芝崎哲平 <sup>1</sup> 、佐野圭吾 <sup>1</sup> 、天野翔瑛 <sup>1</sup> 、遠藤優太郎 <sup>1</sup> 、小西愛 <sup>1</sup> 、伊東史子 <sup>2</sup> 、渡邊幸秀 <sup>3</sup> 、武藤誠 <sup>4</sup> 、加藤光保 <sup>3</sup> 、伊東進 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 昭和薬科大学薬学部、 <sup>2</sup> 東京薬科大学生命科学部、 <sup>3</sup> 筑波大学人間総合科学研究科、 <sup>4</sup> 京都大学医学研究科遺伝薬理学ユニット
P-07	*	BMP/non-Smad 経路を介した軟骨分化誘導メカニズム ○小嶋彩夏、山本陽平、綾部佳穂、中野なおこ、伊東進 昭和薬科大学・生化学

P-08	*	TGF-β/Smad シグナルによる CYP1A1 遺伝子発現抑制機構 ○佐藤絵理香、深井駿成、後瀬大樹、葛 祐妃、浅利心、佐藤航、仲西盛史、中野なおこ、佐野圭吾、伊東 進 昭和薬科大学 生化学研究室
P-09	*	化学発がん誘導モデルマウスを用いた TGF-βシグナル抑制機構の解明 ○澤田悠太郎 <sup>1</sup> 、佐野圭吾 <sup>1</sup> 、石川諒 <sup>1</sup> 、伊東真菜 <sup>1</sup> 、天野翔瑛 <sup>1</sup> 、大内舞美 <sup>1</sup> 、青木佑太郎 <sup>1</sup> 、比留間美帆 <sup>1</sup> 、小保方汐里 <sup>1</sup> 、伊東史子 <sup>2</sup> 、渡邊幸秀 <sup>3</sup> 、加藤光保 <sup>3</sup> 、伊東進 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 昭和薬科大学薬学部生化学研究室、 <sup>2</sup> 東京薬科大学生命科学部心血管医科学研究室、 <sup>3</sup> 筑波大学大学院人間総合科学研究科実験病理学研究室
P-10	*	TMEPAI ファミリーによる中皮腫進展抑制メカニズム ○中原千絵、山浦瑞貴、宮里ゆり、佐野圭吾、中野なおこ、伊東進 昭和薬科大学・生化学
P-11	*	TGF-β 刺激下で発現が誘導される転写共役因子による上皮間葉転換の亢進 ○杉野 歩美 <sup>1</sup> 、平田 健介 <sup>1</sup> 、高倉 勇氣 <sup>1</sup> 、岩澤 修斗 <sup>1</sup> 、岡田 和之 <sup>1</sup> 、竹洞 裕貴 <sup>1</sup> 、高野 博之 <sup>2</sup> 、山口 直人 <sup>1</sup> 、山口 憲孝 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 千葉大・院薬・分子細胞生物、 <sup>2</sup> 千葉大・院薬・分子心血管薬理学
P-12	*	Gpnmb による肝臓の糖新生抑制機構の解明 ○大串悠斗 <sup>1</sup> 、大野友美絵 <sup>1</sup> 、有村祐次郎 <sup>1</sup> 、新井理智 <sup>1</sup> 、合田巨人 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 早稲田大学大学院
P-13	*	The role of CD22 glycan cis-ligands in the regulation of B cell tonic signaling. ○Amin Alborzian Deh Sheikh <sup>1</sup> , Chizuru Akatsu <sup>1</sup> , Hideharu Ishida <sup>2</sup> and Takeshi Tsubata <sup>1</sup> <sup>1</sup> Department of Immunology, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University, <sup>2</sup> Department of Applied Bio-organic Chemistry, Gifu University
P-14	*	Identification of metabolic pathways involved in murine primitive streak formation ○Jing Pu and Hiroshi Nishina Department of Developmental and Regenerative Biology, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University
P-15	*	Role of NADPH oxidases in BCR signaling and B cell proliferation ○Yang-Yang Feng <sup>1</sup> , Miao Tang <sup>1</sup> , Mitsuhiro Suzuki <sup>1</sup> , Jun Liu <sup>2</sup> , Helmut Grasberger <sup>3</sup> , Mamoru Ohkita <sup>4</sup> , Yasuo Matsumura <sup>4</sup> , Ji-Yang Wang <sup>1,2</sup> and Takeshi Tsubata <sup>1</sup> <sup>1</sup> Department of Immunology, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University, <sup>2</sup> Department of Immunology, School of Basic Medical Sciences, Fudan University, <sup>3</sup> Department of Medicine, University of Michigan, <sup>4</sup> Laboratory of Pathological and Molecular Pharmacology, Osaka University of Pharmaceutical Sciences
P-16	*	時計制御因子 <i>Bmal2</i> 欠損ゼブラフィッシュの作出と解析 ○Alifu Yikelamu <sup>1</sup> 、平山 順 <sup>2</sup> 、仁科 博史 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 東京医科歯科大学難治疾患研究所 発生再生生物学、 <sup>2</sup> 公立小松大学保険医療学部
P-17 OL-5		哺乳動物培養細胞を用いた転写共役因子 YAP 誘導性細胞排除現象の解析 ○石原えりか、仁科博史 東京医科歯科大学難治疾患研究所 発生再生生物学分野

P-18 OL-1	*	<p>Pink Flamindo: a red fluorescent indicator for intracellular cAMP observations  ○Kazuki Harada<sup>1</sup>, Motoki Ito<sup>2</sup>, Takashi Tsuboi<sup>1,2</sup> and Tetsuya Kitaguchi<sup>3,4</sup>  <sup>1</sup> Dept. Life Sci., Grad. Sch. Art. Sci., Univ. Tokyo, Tokyo, <sup>2</sup> Dept. Biol. Sci., Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, Tokyo, <sup>3</sup> Cell Signaling Group, WABIOS, Singapore, <sup>4</sup> Comp. Res. Org., Waseda Univ., Tokyo, Japan</p>
P-19		<p>がん細胞のネクローシスとアポトーシスの細胞死制御機構  ○佐藤 聡<sup>1</sup>, 高橋 祐衣<sup>1</sup>, 下間 彰<sup>1</sup>, 田沼 靖一<sup>2</sup>, 金 惠淑<sup>3</sup>, 綿矢 有佑<sup>3</sup>  <sup>1</sup> 東京理科大学 薬学部 生化学研究室, <sup>2</sup> 東京理科大学 研究推進機構 総合研究院, <sup>3</sup> 岡山大学大学院医歯薬総合研究科</p>
P-20	*	<p>妊娠高血圧が胎仔肝臓の遺伝子発現に与える影響  ○中島実咲<sup>1</sup>, 金俊達<sup>2</sup>, 陸偉哲<sup>3</sup>, 石田純治<sup>2</sup>, 深水昭吉<sup>2</sup>  <sup>1</sup> 筑波大学 生命環境科学研究科, <sup>2</sup> 筑波大学 生存ダイナミクス研究センター、  <sup>3</sup> 筑波大学 博士課程ヒューマンバイオロジー学位プログラム</p>
P-21	*	<p>カルシウムシグナル阻害による妊娠高血圧マウスの病態改善効果の検討  ○霍思全<sup>1</sup>, 石田純治<sup>2</sup>, 室町直人<sup>1</sup>, 謝玉瑩<sup>3</sup>, 中島実咲<sup>3</sup>, 深水昭吉<sup>1,2,3</sup>  <sup>1</sup> 筑波大学 生物資源学類 応用生命化学コース, <sup>2</sup> 筑波大学 生存ダイナミクス研究 (TARA) センター, <sup>3</sup> 筑波大学 生命環境科学研究科 生物資源科学専攻</p>
P-22	*	<p>α1A-アドレナリン受容体の欠損は、妊娠高血圧における心肥大を増悪させる  ○権 哲源<sup>1</sup>, 石田 純治<sup>2</sup>, 深水 昭吉<sup>1,2</sup>  筑波大学大学院 <sup>1</sup> 生命環境科学研究科 <sup>2</sup> 生存ダイナミクス研究センター</p>
P-23	*	<p>Physiological role of LRRK2 in lamellar body homeostasis  ○Miho Araki<sup>1</sup>, Sho Takatori<sup>1</sup>, Genta Ito<sup>2</sup>, Taisuke Tomita<sup>1,2</sup>  <sup>1</sup>Laboratory of Neuropathology and Neuroscience, <sup>2</sup>Laboratory of Brain and Neurological Disorders, Graduated School of Pharmaceutical Science, The University of Tokyo</p>
P-24	*	<p>光酸素化触媒によるタウの酸素化は凝集を抑制する  ○鈴木崇允<sup>1</sup>, 堀由起子<sup>1</sup>, 澤崎鷹<sup>2</sup>, 根本侑<sup>1</sup>, 小澤柊太<sup>1</sup>, 相馬洋平<sup>2</sup>, 金井求<sup>2</sup>, 富田泰輔<sup>1</sup>  <sup>1</sup> 東大院・薬・機能病態学, <sup>2</sup> 東大院・薬・有機合成化学</p>
P-25 OL-6	*	<p>アストロサイト由来 Aβ 分解酵素 Kallikrein-related peptidase 7 の発現制御機構の解析  ○須藤優喜<sup>1</sup>, 木棚究<sup>1</sup>, 建部卓也<sup>2</sup>, 堀由起子<sup>1</sup>, 高鳥翔<sup>1</sup>, 富田泰輔<sup>1</sup>  <sup>1</sup> 東京大学大学院 薬学系研究科 機能病態学教室  <sup>2</sup> 帝京平成大学 薬学部 薬学科</p>
P-26		<p>アルギニンメチル化酵素 PRMT1 によるアストロサイト発達制御機構の解明  ○橋本 美涼<sup>1</sup>, 陸 偉哲<sup>2</sup>, 石田 純治<sup>3</sup>, 村田 知弥<sup>4</sup>, 中川 寅<sup>1</sup>, 深水 昭吉<sup>2,3</sup>  <sup>1</sup> 岐阜大学応用生物科学部, <sup>2</sup> 筑波大学ヒューマンバイオロジー学位プログラム、  <sup>3</sup> 筑波大学生存ダイナミクス研究センター, <sup>4</sup> 関西学院大学理工学部生命医化学科</p>
P-27	*	<p>ネオニコチノイド系薬剤のマウス経口投与によるゲノム DNA のメチル化の変化および脳内遺伝子の発現変動  ○和賀央子<sup>1</sup>, 清水仁美<sup>1</sup>, 横森将輝<sup>1</sup>, 大沼一富<sup>2,3</sup>, 内野茂夫<sup>1</sup>  <sup>1</sup>. 帝京大学理工学部バイオサイエンス学科 <sup>2</sup>. 三井化学アグロ株式会社研究開発本部  <sup>3</sup>. 順天堂大学医学部</p>

P-28	*	<p>タウ細胞間伝播培養細胞モデルの構築</p> <p>○根本 侑<sup>1</sup>、堀 由起子<sup>1</sup>、富田 泰輔<sup>1</sup></p> <p><sup>1</sup>東大院・薬・機能病態学教室</p>
P-29	*	<p>ジアシルグリセロールキナーゼδの欠損はセロトニン神経系の機能低下を惹起する</p> <p>○陸 強<sup>1</sup>、米野井 優<sup>1</sup>、高橋 大輔<sup>1</sup>、坂根 郁夫<sup>1</sup></p> <p><sup>1</sup>千葉大学大学院 融合理工学府</p>
P-30	*	<p>Host CD36, Delivered from Platelets via Exosome, is the key Receptor for <i>Plasmodium</i> Growth</p> <p>○小松谷 啓介<sup>1,2</sup>、磯尾 直之<sup>3</sup>、徳舩 富由樹<sup>4</sup>、原 眞澄<sup>3</sup>、北 潔<sup>5</sup></p> <p><sup>1</sup>東京都医学総合研究所細胞膜、<sup>2</sup>東京大学大学院医学系研究科生物医化学教室</p> <p><sup>3</sup>帝京大学附属溝口病院第四内科、<sup>4</sup>東京大学大学院医学系研究科リポドミクス社会連携講座、<sup>5</sup>長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科、熱帯学研究所</p>
P-31	*	<p>コラーゲンの糖とビトロネクチンの結合性の線維形成における影響と生物学的意義</p> <p>○辻岳美央<sup>1</sup>、小川温子<sup>1</sup>、伊達公恵<sup>2</sup>、山崎茜<sup>3</sup></p> <p>お茶の水女子大学 <sup>1</sup>大学院人間文化創成科学研究科、<sup>2</sup>ヒューマンライフィノベーション研究所、<sup>3</sup>理学部化学科</p>
P-32	*	<p>スギヒラタケ由来の新規レクチン PPL2 と PPL3 の精製と生物学的意義</p> <p>○芹澤 里佳<sup>1</sup>、大津 萌子<sup>1</sup>、藤本 香奈<sup>1</sup>、深沢 英乃<sup>2</sup>、伊達 公恵<sup>3</sup>、坂上 ひろみ<sup>1,2</sup>、小川 温子<sup>2,3,4</sup></p> <p>お茶の水女子大学 <sup>1</sup>理学部化学科、<sup>2</sup>院 理学専攻、<sup>3</sup>ヒューマンライフィノベーション研究所、<sup>4</sup>基幹研究院自然科学系</p>
P-33 OL-4		<p>NMR 分光法によるコアフコース認識レクチン PhoSL の三量体溶液構造とフコース認識機構</p> <p>○山崎 和彦<sup>1</sup>、山崎 智子<sup>1</sup>、舘野 浩章<sup>2</sup></p> <p>産業技術総合研究所 <sup>1</sup>バイオメディカル研究部門、<sup>2</sup>創薬基盤研究部門</p>
P-34	*	<p>ラットガレクチン-2 の弱酸性条件における糖鎖結合特性の解析</p> <p>○齋藤佳那<sup>1</sup>、田村真由美<sup>1</sup>、佐々木啓晴<sup>1</sup>、武内智春<sup>1</sup>、荒田洋一郎<sup>2</sup>、畑中朋美<sup>1</sup></p> <p><sup>1</sup>城西大学、<sup>2</sup>帝京大学</p>
P-35	*	<p>マウスマクロファージ様細胞株 RAW264 細胞の RANKL 依存的な破骨細胞様細胞への分化が O-GlcNAcase 特異的阻害剤 Thiamet G により抑制される</p> <p>○高橋果歩、武内智春、田村真由美、荒田洋一郎、畑中朋美</p> <p>城西大学薬学部</p>
P-36	*	<p>ガレクチン-1 とガレクチン-3 の熱安定性の比較</p> <p>○中村沙綾<sup>1</sup>、田村真由美<sup>1</sup>、佐々木啓晴<sup>1</sup>、武内智春<sup>1</sup>、荒田洋一郎<sup>2</sup>、畑中朋美<sup>1</sup></p> <p><sup>1</sup>城西大学、<sup>2</sup>帝京大学</p>
P-37	*	<p>FDLA 誘導体化-LC/MS/MS 法を用いた HEK293 細胞中 D,L-アミノ酸分析</p> <p>○高野 友輔、滝島 裕貴、堺谷 晋太郎、小林 正樹、新津 勝、古地 壯光</p> <p>城西大薬</p>
P-38	*	<p>FDLA 誘導体化 LC/MS/MS 法を用いたヨーグルト中の D, L-アミノ酸分析</p> <p>○西 昂介、高野 友輔、滝島 裕貴、堺谷 晋太郎、小林 正樹、新津 勝、古地 壯光</p> <p>城西大薬</p>

P-39	*	<p>プロテインノックダウン法を利用した YAP シグナル阻害剤の開発</p> <p>○石川遼<sup>1</sup>、河本理恵<sup>1</sup>、福田和男<sup>2</sup>、正田卓司<sup>3</sup>、服部隆行<sup>4</sup>、栗原正明<sup>3</sup>、内藤幹彦<sup>4</sup>、山崎龍<sup>2</sup>、岡本巖<sup>2</sup>、中野なおこ<sup>1</sup>、伊東進<sup>1</sup></p> <p><sup>1</sup>昭和薬科大学・生化学、<sup>2</sup>昭和薬科大学・薬品化学、<sup>3</sup>国立医薬品食品衛生研究所・有機化学部、<sup>4</sup>国立医薬品食品衛生研究所・遺伝子医薬部</p>
P-40	*	<p>Analysis of Transcription and Translation by RNA-seq and Ribo-seq in Cardiac PRMT1-Deficient Mice</p> <p>○Weizhe Lu<sup>1</sup>, Kazuya Murata<sup>2</sup>, Mizukami Hayase<sup>3</sup>, Jun-dal Kim<sup>2</sup>, Junji Ishida<sup>2</sup>, Akiyoshi Fukamizu<sup>1,2</sup></p> <p><sup>1</sup> Ph.D. Program in Human Biology, School of Integrative Global Majors (SIGMA), <sup>2</sup> Life Science Center for Survival Dynamics, Tsukuba Advanced Research Alliance, <sup>3</sup> Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba</p>
P-41	*	<p>Photochromic inhibitor of kinesin Eg5 which forms three isomerization states</p> <p>○Islam MD Alrazi, Kei Sadakane and Shinsaku Maruta</p> <p>Department of Bioinformatics, Graduate School of Engineering, Soka University</p>
P-42	*	<p>Photo-control of Small GTPase Ras Using Novel Photochromic Peptide Inhibitor</p> <p>○Nobuyuki Nishibe<sup>1</sup>, Kenichi Taii<sup>1</sup>, Masahiro Kuboyama<sup>1</sup>, Toshio Nagashima<sup>2</sup>, Toshio Yamazaki<sup>2</sup>, Shinsaku Maruta<sup>1</sup></p> <p><sup>1</sup>Department of Bioinformatics, Graduate School of Engineering, Soka University <sup>2</sup>Center for Life Science Technologies, RIKEN Yokohama</p>
P-43	*	<p>Photo-regulation of Small GTPase Ras Using Peptide Modified with Azobenzene</p> <p>○Masahiro Kuboyama<sup>1</sup>, Nobuyuki Nishibe<sup>1</sup>, Taii Kenichi<sup>1</sup>, Kondo Kazunori<sup>2</sup>, Shinsaku Maruta<sup>1</sup></p> <p><sup>1</sup>Soka University Graduate School of Engineering, Department of Bioinformatics. <sup>2</sup>Soka University, Department of Symbiotic Creation Science and Engineering.</p>
P-44	*	<p>Photochromic inhibitor of kinesin Eg5 composed of two spiropyran derivatives</p> <p>○Kenichi Taii<sup>1</sup>, Kei Sadakane<sup>1</sup>, Islam M.D. Alrazi<sup>1</sup>, Shinsaku Maruta<sup>1</sup></p> <p><sup>1</sup>Department of Bioinformatics, Graduate School of Engineering, Soka University, Hachioji</p>
P-45	*	<p>Identification of morelloflavone as novel inhibitor of mitotic kinesin Eg5</p> <p>○ TOMISIN HAPPY OGUNWA<sup>1</sup>, KEI SADAKANE<sup>2</sup>, KENICHI TAII<sup>2</sup>, TAKAYUKI MIYANISHI<sup>1</sup>, SHINSAKU MARUTA<sup>2</sup></p> <p><sup>1</sup>Graduate School of Fisheries Science and Environmental Studies, Nagasaki University <sup>2</sup>Department of Bioinformatics, Graduate School of Engineering, Soka University</p>
P-46		<p>分子状酸素を可視化する酸素センサータンパク質の開発</p> <p>○野亦次郎、久堀徹</p> <p>東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所</p>
P-47	*	<p>ATP 合成酵素εサブユニットの機能の多様性</p> <p>○稲辺 宏輔<sup>1,2</sup>、若林 憲一<sup>1,2</sup>、久堀 徹<sup>1,2</sup></p> <p><sup>1</sup>東京工業大学 生命理工学院、<sup>2</sup>東京工業大学 化学生命科学研究所</p>
P-48	*	<p>葉緑体型チオレドキシニンによる標的認識機構とチオレドキシニン様タンパク質の新奇標的探索</p> <p>○横地 佑一<sup>1,2</sup>、若林 憲一<sup>1,2</sup>、久堀 徹<sup>1,2</sup></p> <p><sup>1</sup>東京工業大学 生命理工学院、<sup>2</sup>東京工業大学 化学生命科学研究所</p>

P-49	*	Vif - CBF $\beta$ - CUL5 - ELOB - ELOC 複合体に対するアプタマーの取得と解析 ○鈴木 拓也 <sup>1</sup> , 万里 <sup>2</sup> , 関川 湧斗 <sup>1</sup> , 田中 陽一郎 <sup>3</sup> , 神庭 圭介 <sup>2</sup> , 片平 正人 <sup>2</sup> , 永田 崇 <sup>2</sup> , 坂本 泰一 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 千葉工業大学, <sup>2</sup> 京都大学, <sup>3</sup> 横浜国立大学
P-50	*	スプライシング因子の複合体に結合する aptamer の結合能の解析 ○佐藤謙太郎 <sup>1</sup> , 柳澤拓也 <sup>1</sup> , 瀧澤将行 <sup>2</sup> , 天野亮 <sup>1</sup> , 武藤裕 <sup>2</sup> , 桑迫香奈子 <sup>2</sup> , 坂本泰一 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 千葉工業大学, <sup>2</sup> 武蔵野大学
P-51		ラット肝臓のミトコンドリアシャペロンタンパク質 HSP70 発現量の加齢変化 ○高橋 良哉、大寺 恵子、紙田 正博 東邦大学薬学部生化学教室
P-52	*	二価イオンが安定化する $\alpha$ -helical coiled-coil 構造 ○野亦 裕太 <sup>1</sup> , 結城 翼 <sup>2</sup> , 中山 典久 <sup>2</sup> , 飯田 良 <sup>3</sup> , 三友 秀之 <sup>4</sup> , 居城 邦治 <sup>4</sup> , 長田 義仁 <sup>5</sup> , 佐野 健一 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 日本工業大学, <sup>2</sup> 日本工業大学大学院, <sup>3</sup> 北海道大学大学院, <sup>4</sup> 北海道大学電子科学研究所, <sup>5</sup> 理化学研究所
P-53 OL-2	*	膵リパーゼを修飾する糖鎖は分子の熱安定性に寄与する ○川口 奈奈美 <sup>1</sup> , 富田千尋 <sup>1</sup> , 檜館 里奈 <sup>1</sup> , 小川 温子 <sup>2</sup> <sup>1</sup> お茶大・院・人間文化・理学, <sup>2</sup> お茶大・基幹研究院・自然科学系
P-54	*	ウシ膵臓キモトリプシンとキモトリプシノーゲンの糖鎖結合性とその生物学的意義 ○石塚 陽奈子 <sup>1</sup> , 伊奈 智恵子 <sup>2</sup> , 竹川 寛子 <sup>2</sup> , 伊達 公恵 <sup>3</sup> , 小川 温子 <sup>2,3,4</sup> お茶の水女子大学 <sup>1</sup> 理学部 化学科, <sup>2</sup> 大学院理学専攻, <sup>3</sup> ヒューマンライフイノベーション研究所, <sup>4</sup> 基幹研究院自然科学系
P-55	*	鉄硫黄クラスターの生合成に関与する IscU と SufU の機能分化 ○横山 奈央、田中 尚志、藤城 貴史、高橋 康弘 埼玉大学大学院 理工学研究科 分子生物学コース
P-56	*	新規蛍光基質を用いてのデオキシハイプシン合成酵素活性測定法の開発 ○安藤千夏 <sup>1</sup> , 下田郁菜 <sup>1</sup> , 菅野綾香 <sup>1</sup> , 沼尻幸彦 <sup>1</sup> , 小林正樹 <sup>1</sup> , 五十嵐一衛 <sup>2</sup> , 白幡 晶 <sup>1</sup> , 新津 勝 <sup>1</sup> , 古地壯光 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 城西大薬, <sup>2</sup> アミンファーマ研
P-57 OL-7	*	PRMT1 スプライスバリエント欠損がマウス個体の代謝に与える影響 ○水上早瀬 <sup>1</sup> , 金 俊達 <sup>2</sup> , 陸 偉哲 <sup>3</sup> , 横山 航 <sup>1</sup> , 中島実咲 <sup>1</sup> , 石田純治 <sup>2</sup> , 深水昭吉 <sup>2</sup> 筑波大学 <sup>1</sup> 生命環境科学研究科, <sup>2</sup> 生存ダイナミクス研究センター (TARA センター), <sup>3</sup> グローバル教育院ヒューマンバイオロジー学位プログラム
P-58	*	大腸菌における炭素と硫黄代謝の協調的な制御機構の解析 ○田中尚志 <sup>1</sup> , 齋藤聡司 <sup>2</sup> , 尾崎由佳梨 <sup>2</sup> , 阿部哲也 <sup>3</sup> , 大津巖生 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 筑波大学 国際産学連携本部高細精医療イノベーション研究コア <sup>2</sup> 協和発酵バイオ株式会社 生産技術研究所 <sup>3</sup> 協和発酵バイオ株式会社 R&BD 部
P-59		HIF-1 $\alpha$ と MCM2-7 との相互作用 - オートファジーとの関係 宮本優眞、山崎美穂、○石見幸男 茨城大学理学部

P-60		マスト細胞において GATA1 はトリプターゼ遺伝子座における CTCF とコヒーシンの結合を制御する ○大森慎也, 干川さつき, 大根田絹子 高崎健康福祉大学 薬学部
P-61		KDM2A によるリボソーム RNA 転写抑制には HP1 の相互作用が必要である ○岡本 健吾, 田中 祐司, 常岡 誠 高崎健康福祉大・薬
P-62 OL-3	*	ゼブラフィッシュ由来の LINE の RNA の構造と逆転写酵素による認識方法 ○大津舞菜, 河合剛太 千葉工業大学大学院 工学専攻
P-63		1 コドンに 2 種類のアミノ酸が割り当てられる遺伝暗号表の構築と特性 榎本 利彦 <sup>1</sup> , 鮎川 翔太郎 <sup>1</sup> , ○木賀 大介 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 早稲田大学 先進理工学研究科 電気・情報生命専攻
P-64	*	メチル化ヌクレオシドデータベース (MNSDB) の構築 ○中原大輔 <sup>1</sup> , 加香孝一郎 <sup>2</sup> , 野村直人 <sup>1</sup> , 深水昭吉 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 筑波大学生命環境科学研究科, <sup>2</sup> 生命環境系, <sup>3</sup> 生存ダイナミクス研究センター
P-65	*	線虫 <i>C. elegans</i> における開始メチオニン tRNA m <sup>1</sup> A58 修飾が寿命に及ぼす影響 ○宮田 真衣 <sup>1</sup> , 大徳 浩照 <sup>2</sup> , 角 直亮 <sup>1</sup> , 横山 航 <sup>1</sup> , 廣田 恵子 <sup>3</sup> , 深水 昭吉 <sup>4</sup> <sup>1</sup> 筑波大学 生命環境科学研究科, <sup>2</sup> 筑波大学 生命環境, <sup>3</sup> 東京女子医科大学 医学部 衛生学公衆衛生学 (一) 講座, <sup>4</sup> 筑波大学 生存ダイナミクス研究センター
P-66	*	放線菌株へのプラスミド導入時に発現量が変動する遺伝子の解析 ○木村 優斗 <sup>1</sup> , 廣瀬 修一 <sup>2</sup> , 根本 航 <sup>1,3</sup> <sup>1</sup> 東京電機大学大学院 理工学研究科, <sup>2</sup> 長瀬産業株式会社 ナガセ R&D センター <sup>3</sup> 東京電機大学 理工学部
P-67	*	TPA 処理による HL-60 細胞分化誘導に伴ったヒト <i>E2F4</i> 遺伝子発現の増大 ○濱田 裕司 <sup>1</sup> , 内海 文彰 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 東理大院・薬・遺伝子制御学, <sup>2</sup> 東理大・薬・遺伝子制御学
P-68	*	NAD <sup>+</sup> 代謝関連化合物による DNA 修復関連遺伝子プロモーター活性の制御 ○織野 かおり, 山野 亜美, 内海 文彰 東理大・薬・遺伝子制御学
P-69	*	ポリ (ADP-リボース) の集積を誘導する抗がん剤候補化合物 MO2455 の細胞死誘導機序の解析 ○佐々木由香 <sup>1,2</sup> , 小野寺貴恵 <sup>1,2</sup> , 小泉史明 <sup>3</sup> , 松野研司 <sup>4</sup> , 高村岳樹 <sup>5</sup> , 下山 達 <sup>3</sup> , 井上謙吾 <sup>6</sup> , 益谷美都子 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 国がん研究セ・研・細胞情報学・連携研究室, <sup>2</sup> 長崎大院・医歯薬・フロンティア生命科学, <sup>3</sup> 都立駒込病院・臨床研究支援室, <sup>4</sup> 工学院大・先進工学部, <sup>5</sup> 神奈川工科大・工学部, <sup>6</sup> 静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター